

V. シラバスガイド

【1】 シラバスの利用

1. シラバスとは？

シラバスとは、各科目の授業計画を示したもので、履修する前に理解しておくべきことと、予習・復習を行うときに必要な情報を示すものです。履修科目を決める際には、科目名だけで授業の内容を判断せず、その科目で、何をどのように学ぶのかを知っておく必要があることは言うまでもありません。さらに、その科目とほかの科目とのつながりを意識することも重要です。前もって履修しておくべき科目、一緒に履修すべき科目、続いて履修すべき科目を理解することで、それらの科目が互いに結びついて織りなす大きな知識・技術のまとまりを身につけられるようになります。

シラバスは、ポータルサイトから閲覧できます（1年次生には冊子版も配付されます）ので、次に示す利用方法を参考にして、シラバスを大いに活用してください。

2. シラバスを利用する

(1) 4年間の学習・研究計画を立てる

大学で学ぶ目的は、4年間で社会に生き抜く力を身につけて、卒業後の進路を決めて卒業することです。4年間で有意義に過ごすには、1年次の初めに、自分の関心や目標をよく考えて、4年間の学習計画を立てることが重要です。さらに、学習を進めながら計画を確認し、必要に応じて計画を見直します。

学習計画を考えるときは、履修ガイド・学習計画モデル集を読んで、4年間で履修できる科目、学びたいことや卒業後の進路に応じた履修の進め方を確認します。このとき、必ず個々の科目について、テーマ、授業内容、到達目標、関連科目をシラバスで確認するようにしてください。そうすることで、4年間の学習のイメージを具体的につかむことができるようになります。

(2) 履修登録にあたって、各科目の詳細を確認する

各科目にかかわる研究の動向や社会状況に応じて、授業で取り上げる内容が変わることがあるため、年度ごとにシラバスは更新されます。年度の初めには、授業計画を考えるときに調べたテーマ、授業内容、到達目標、関連科目を改めて確認した上で、テキスト・参考図書、授業外における学習方法、成績評価方法、授業計画をよく読むことが重要です。わからないところがあれば、授業の担当教員やF A（ファカルティ・アドバイザー）に相談してください。履修登録前にシラバスをよく確認することで「実際に授業を受けてみたら自分が考えていた内容と違っていた」という事態を避けることができます。

(3) 授業を受けながら、復習・予習を行い、発展的な学習に取り組む

実際に授業が始まったら、授業外における学習方法を参考にしながら、授業計画を確認して事前に準備を行ってください。テキストが指定されている場合は、第1回の授業までに必ず入手してください。また、成績評価方法と授業計画を確認し、疑問があれば担当教員に質問してください。

文部科学省の指針では、1単位あたり45時間の学習を必要とする内容をもって構成することが標準とされています。半期2単位の授業では90時間が必要となりますが、授業の時間だけでは全く足りません。よって、授業を受けた後は、速やかに復習を行い、授業計画を確認して、次回の授業に備えなければなりません。さらには、シラバスに示された参考書等を参照しながら、授業の理解を深めたり、発展的な知識や技術を身につけるなどの予習を行うように心がけてください。

